

四季成り性イチゴの主要品種の特性

【1 成果概要】

主要な四季成り性イチゴ5品種において、「なつあかり」「デコルージュ」「イチエス-138」「ペチカ」は株間20cm、「サマルビー」では株間30cmとすることで、単位面積当たりの上物収量が向上します。

「なつあかり」は糖度が高く、生食用途にも適します。

「デコルージュ」「イチエス-138」は果実硬度が高く、業務用途に適します。

「サマルビー」「ペチカ」は大果性で上物収量が多くなります。

品種ごとの特性は、下表のとおり。

品種名	収量性	障害果	硬度	糖度	四季成り性	適正株間	育成元
なつあかり	やや優	やや少	やや硬	優	やや強	20cm	(独)東北農業研究センター
デコルージュ	良	少	硬	良	強	20cm	
イチエス-138(夏実)	やや優	やや少	硬	良	強	20cm	(株)北海三共
サマルビー	優	少	やや軟	良	やや強	30cm	(有)ミカモフレック
ペチカ	優	やや少	やや軟	やや優	強	20cm	(株)ホーブ

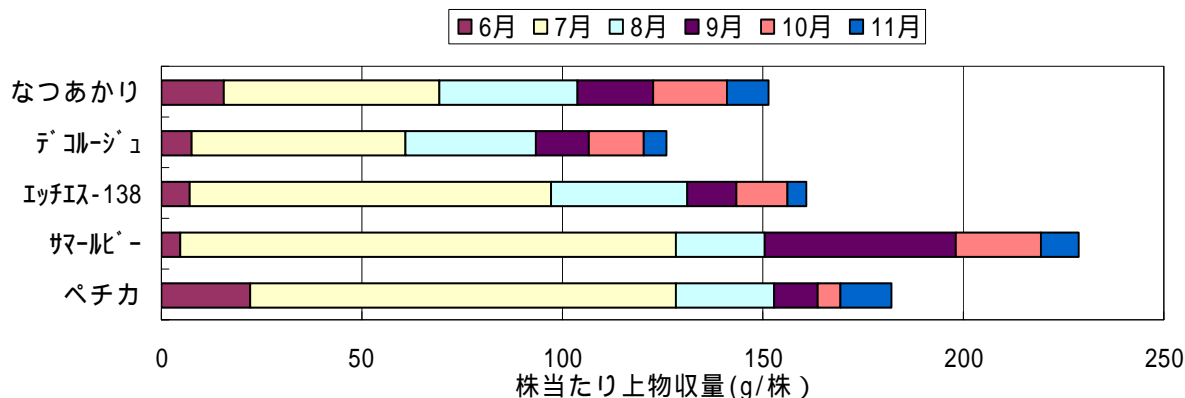


図 株当たり上物収量の推移

*上物収量：7g以上の正常果と15g以上の形状の劣る果実重の合計

表 株当たり上物収量とa当たり収量の違いについて(2007~2008年)

品種	株当り上物収量(g/株)			1 a 当たり					
				上物収量(kg/a)			商品果収量(kg/a)		
	20cm	25cm	30cm	20cm	25cm	30cm	20cm	25cm	30cm
なつあかり	154	184	168	169	163	124	267	322	185
デコルージュ	132	138	177	145	123	131	185	226	175
エッチエス-138	148	170	202	162	151	149	297	325	227
サマルビー	174	228	285	192	202	211	293	319	332
ペチカ	194	207	269	214	184	199	277	341	267

*1 商品果収量：4g以上の正常果と7g以上の形状の劣る果実重の合計

*2 栽植密度：株間20cm:1100株/a 株間25cm:890株/a 株間30cm:740株/a、千鳥2条

【2 留意事項】

民間育成品種の「イチエス-138」「サマルビー」「ペチカ」は栽培契約が必要になるため、事前に契約内容を確認してください。

【3 効果】

品種選定の資となります。

【4 適応対象】

農業普及員等の指導者等